

京都府福知山市における遊休公有資産の活用 「廃校マッチング」の実施

今回は京都府福知山市の廃校活用に
向けた取り組みをご紹介します。

京都府の北西部に位置し、由良川流域の福知山盆地にひらける福知山市。天正7（1579）年に明智光秀が福知山城を築き城下町として栄えた。以後、明治末期までに大阪・京都への鉄道が開通し、北近畿の交通の要衝として、また商都としても発展してきた魅力あふれる町である。この福知山市において公民連携により、遊休公有資産の一つである「廃校」に着目したユニークな取り組みが行われている。

取り組みの背景

2017年に、京都府は公民連携の推進に向けて「京都府公民連携プラットフォーム」を設立している。当プラットフォームに参加している福知



▲廃校の一枚である旧菟原小学校



▲「公民連携促進に関する連携協定」締結



▲福知山市内の廃校分布図

山市は公民連携の取り組みを一層強化することを目的として、地元金融機関である京都銀行、京都北都信用金庫と2020年8月に「公民連携促進に関する連携協定」を締結した。福知山市では過疎化により廃校になった学校が16校あり、地域の賑わいに空洞が生じることが課題となっている。遊休公有資産である廃校の民間活用を促進することで企業進出や新たな事業創造を後押しし、地域の賑わいや雇用の創出につなげるべく取り組みがスタートした。

「廃校マッチングバスツアー」の実施

まず、民間企業が廃校の活用にとどの程度関心があるのか、京都銀行によって取引先約1,300社に対し廃校活用に関するアンケート調査が行われた。

続いて廃校活用に関心を寄せる企業と福知山市とのマッチングを目的に、実際に廃校の中を見学し、福知山市職員から説明を受けることができる「廃校マッチングバスツアー」が実施された。2020年10・11月の実施時には募集定員30名に対し約120名もの応募があり、関心の高さに



▲「廃校マッチングバスツアー」の様子



▲「地域アイデアワークショップ」の様子

がうかがわれた。

「廃校マッチングバスツアー」は2020年度・2021年度に計3回実施され、廃校活用を検討する約80社のマッチングとサウンディング調査が行われた。

取り組みの成果と今後の展開

協定締結後に活用が決定した廃校は、行政利用も含めて6校となり、一定の成果が出ている。

2021年度からはマッチングの確度を高めるため、伴走支援型の「廃校リノベーション・ジョイントアッププログラム」がスタートした。同プログラムの第1弾として2021年7月に「廃校マッチングバスツアー」が実施され、続いて、内閣府補助事業「地方創生力レジ」の「地方創生イノベーション発想塾」の枠組みを活用し、AIを用いて廃校活用のアイデアを考える「地域アイデアワークショップ」、廃校活用を検討する事業者とともにアイデアを磨き、具体的な活用イメージを描く「アイデアブラッシュアップワークショップ」が開催された。

以上の事例は、遊休公有資産である廃校を民

間企業と連携して解決する公民連携の取り組みである。こうした取り組みがますます広がっていくことが期待される。

（文責：株式会社京都総合経済研究所）



▲「アイデアブラッシュアップワークショップ」の様子

日本全国 県境・地域を越えた 「様々なビジネスニーズ」にお応えします！

このようなビジネスシーンでお困りではありませんか？



全国の地銀9行連携 「地域再生・活性化ネットワーク」について

経営基盤・営業エリアが異なる地銀9行が、様々な情報・ネットワークを相互に活用することで、地域経済の再生および活性化を図るために構築した広域連携です。

県境・地域を超えて活躍する(今後検討される)お客さまのビジネスニーズ等に対して、全国の各エリアをカバーする地域金融機関が連携・協力して対応していきます。

- ①複数の地方銀行による資金供給(シンジケートローン・協調融資等)
- ②他エリアの地方銀行のネットワーク情報を活用して、M&Aや事業承継における相手方情報をご提供
- ③ビジネスマッチング業務にかかる他エリアの地方銀行のお取引先等をご紹介します



- 【注意事項】**
- 本ネットワークは、協定書を締結した地方銀行9行の連携・協力に基づき運営されています。ご利用にあたり、お客さまのご要望・ニーズなど、必ずしもご期待にそえない場合がありますのでご了承ください。(個別具体的なソリューションのご提供を確約するものではありません。)
 - 本ネットワークのご利用を希望される場合は、お近くの取引銀行窓口までお気軽にご相談ください。
(ご相談は無料です、但し、個別具体的なソリューションのご提供にあたっては、各銀行所定の手数料等がかかる場合があります。)